

ご案内：環境 DNA 技術 生態系観測、JST-CREST シンポ 1/29

環境 DNA による生物多様性観測で始まっています。

その関連の JST-CREST シンポのご案内です。

この環境 DNA のプロジェクトメンバーが中心となり、環境 DNA 学会 <http://ednasociety.org/> が昨年立ち上がりました。この技術の継続的な改良と普及、国内外の研究討議の場づくりを行っていきます。

☆公開シンポジウム 第 1 回「環境 DNA 技術の現在：生態系観測の未来を展望する」☆

環境 DNA 技術に関連して、以下の「公開シンポジウム」及び「海洋フォーラム」が同日開催されます。参加無料ですが申し込みが必要です。ぜひお越しください。

主催：JST-CREST 「海洋生物多様性および生態系の保全・再生に資する基盤技術の創出」

共催：公益財団法人笹川平和財団 海洋政策研究所

プログラム https://www.jst.go.jp/kisoken/sympo/mbd_sympo2019_1.pdf

日時：2019年1月29日（火）

会場：笹川平和財団ビル 11 階 国際会議場 （東京都港区虎ノ門 1-15-16）

交通：地下鉄銀座線・虎ノ門駅出口 4 より徒歩 1 分（<https://www.spf.org/profile/access.html>）

参加費：無料

時間：10:00～16:30

開会挨拶 小池勲夫（CREST 研究総括）

共催者挨拶 角南 篤（笹川平和財団海洋政策研究所 所長）

近藤倫生（東北大学）「プロジェクトの紹介／環境 DNA 学会への発展について」

源利文（神戸大学）「環境 DNA 分析の発展と基礎的分析技術について」

笠井亮秀（北海道大学）「沿岸域における魚類バイオマスの推定の試み」

宮正樹（千葉県立中央博物館）「環境 DNA メタバーコーディング法による全国一斉魚類相調査 2017 の概要」

益田玲爾（京都大学）「環境 DNA の水平分布と経時変化から読み解く魚類の生態」

荒木仁志（北海道大学）「北海道における環境 DNA 調査研究と生態分野への今後の展開」

清野聡子（九州大学）「環境 DNA 技術の沿岸生態系管理での活用 - 対馬暖流域の海洋保護区設計の事例」

総合討論 近藤倫生（東北大学）

閉会挨拶 科学技術振興機構

申し込み <https://form.jst.go.jp/enquetes/marinebd1>

2. 第 158 回海洋フォーラム「バケツ一杯の水で棲んでいる魚がわかる技術：環境 DNA メタバーコーディング法の概要と実際」

時間：17：00～18：30

宮正樹（千葉県立中央博物館 生態・環境研究部長）

申し込み <https://www.spf.org/topri/forum/>

一般社団法人環境 DNA 学会 事務局

〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷 1-5 龍谷大学内

email: office@ednasociety.org